

適正な議員定数について（調査票）

方向性	適正な定数	左欄に記載した方向性と適正な定数の理由
<input type="checkbox"/> 定数増	_____人	<p> <input type="checkbox"/>①市政を監視する機能の維持・向上のため <input type="checkbox"/>②政策を立案する機能の維持・向上のため <input type="checkbox"/>③市民の声を市政に反映したり，市政の情報を市民に伝えるための広報・広聴機能の充実のため <input type="checkbox"/>④その他（ _____ ） </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>▼ 上記の項目を選択した理由を具体的に記載してください。</p> <p>【記入例】 <u>市民の多様な意見を，より市政に反映させる必要があるため</u></p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 150px; margin: 5px 0;"></div> </div>
<input type="checkbox"/> 定数維持	26人 (現定数)	<p> <input type="checkbox"/>①市政を監視する機能の維持・向上のため。 <input type="checkbox"/>②政策を立案する機能の維持・向上のため。 <input type="checkbox"/>③市民の声を市政に反映したり，市政の情報を市民に伝えるための広報・広聴機能の維持・向上のため。 <input type="checkbox"/>④その他（ _____ ） </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>▼ 上記の項目を選択した理由を具体的に記載してください。</p> <p>【記入例】 <u>政策立案・提言などの議会機能を発揮するうえで，現定数の維持は必須</u></p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 150px; margin: 5px 0;"></div> </div>

（記入方法）

- 1 該当する□欄にチェック（）を記入する。
- 2 アンダーライン部分（ _____ ）や括弧内に必要事項を記入する。

裏面あり

方 向 性	適正な定数	左欄に記載した方向性と適正な定数の理由
<input type="checkbox"/> 定数減	25人 (現議員数)	<p> <input type="checkbox"/>①市政を監視する機能の維持・向上のため。 <input type="checkbox"/>②政策を立案する機能の維持・向上のため。 <input type="checkbox"/>③市民の声を市政に反映したり，市政の情報を市民に伝えるための広報・広聴機能の維持・向上のため。 <input type="checkbox"/>④その他（ _____ ） </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>▼ 上記の項目を選択した理由を具体的に記載してください。</p> <p>【記入例】<u>現議員数を下回ると監視機能や政策立案機能などに支障が出るため</u></p> </div>
<input checked="" type="checkbox"/> 定数減	次期改選は <u>24人</u> 段階的に <u>16人</u>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>①市政を監視する機能の維持・向上のため。 <input checked="" type="checkbox"/>②政策を立案する機能の維持・向上のため。 <input checked="" type="checkbox"/>③市民の声を市政に反映したり，市政の情報を市民に伝えるための・広報広聴機能の維持・向上のため。 <input checked="" type="checkbox"/>④その他（ <u>行政経営の視点、多様な議員のなり手確保の視点から</u> ） </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>▼ 上記の項目を選択した理由を具体的に記載してください。</p> <p>【記入例】●人を削減したとしても、円滑な議会運営や能率的な意思決定は可能</p> <p style="text-align: center;"> 2040年の議員定数16を目指して、令和3年度(2021年)改選では定数24とする。ただし、議会機能および議員のなり手確保のため、議員定数が減ることによる減額経費を議会としての研修および活動費用にあてること、議員報酬・政務活動費を現状維持することなどが合わせて必要と考えます。詳細な理由は別紙を提出しますのでご参照願います。 </p> </div>

(記入方法)

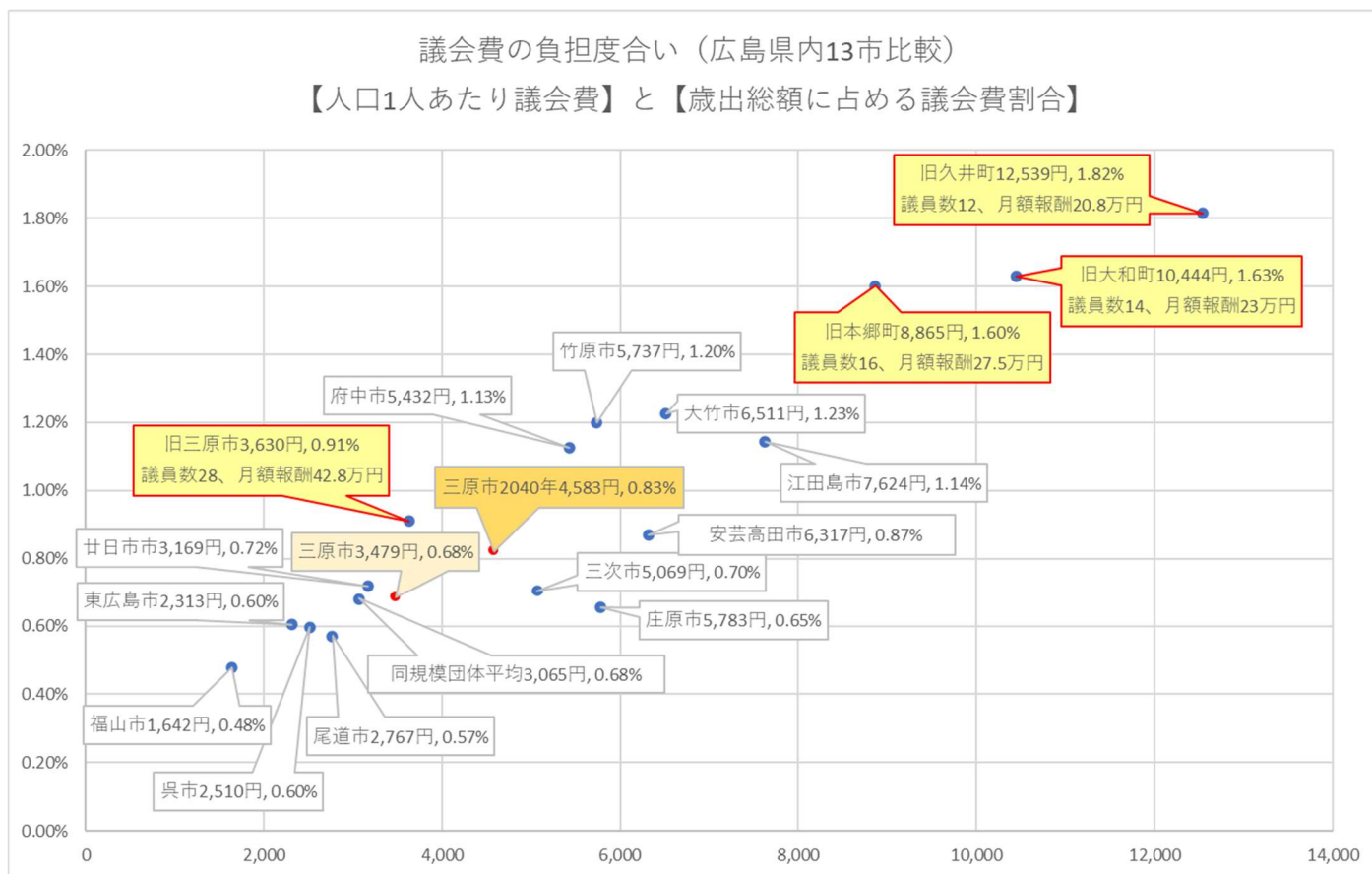
- 1 該当する□欄にチェック () を記入する。
- 2 アンダーライン部分 (_____) や括弧内に必要事項を記入する。

※ ご記入後は事務局に提出(返信)願います。

【①～④の項目を選択した理由を具体的に記載】

1. 行政経営の視点から

議員定数および議会費の現状を維持した場合、絶対値が同じでも、今後の人口減少と財政規模縮小に応じて、相対的に市民の負担や本市財政負担度が増すことになる（グラフ1）。小規模の自治体ほど負担度が高くなる傾向にあり、本市規模に応じて、同規模自治体平均も同様に推移する可能性がある。



（グラフ1）人口1人あたり議会費は平成30年度数値。歳出総額に占める議会費割合は豪雨災害の影響があったことから平成29年度数値。三原市合併前の各市町の値は平成13年度から15年度の平均値。同規模団体は三原市類似団体（Ⅱ-2）のうち人口9万人台の自治体。総務省決算カードから数値を引用して作成。

<https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/card.html>

20年後に現在と同程度の負担度を想定した場合、議会費を現在よりも2割以上縮減することが必要となり（表1：三原市2040d）、その際に議員1人あたり議会費を現在と同程度にした場合、可能な議員定数は20となる。表1：三原市2040dの条件に加え、議員定数の影響を受けない事務費、事務局職員数を現状維持する場合、可能な議員定数は16となる（表1：三原市2040e）。

20年後に現在と同程度の負担度を想定して議会費を縮減し、議員定数を維持した場合は、議員1人あたりの議会費が下がることから、議員報酬等の減額が想定される。

	三原市H29	三原市H30	三原市2040a	三原市2040b	三原市2040c	三原市2040d	三原市2040e
議会費／人口	3,461.99	3,478.58	4,583.33	3,478.00			
議会費／歳出総額	0.68%	0.65%	0.83%		0.68%		
人口	95,687	94,384	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000
議員定数	26	26	26	26	26	20	16
議会費	331,267,000	328,322,000	330,000,000	250,416,000	272,000,000	260,000,000	260,000,000
歳出総額	48,386,865,000	50,243,791,000	40,000,000,000	40,000,000,000	40,000,000,000	40,000,000,000	40,000,000,000
議会費／議員定数	12,741,038	12,627,769	12,692,308	9,631,385	10,461,538	12,700,000	16,000,000

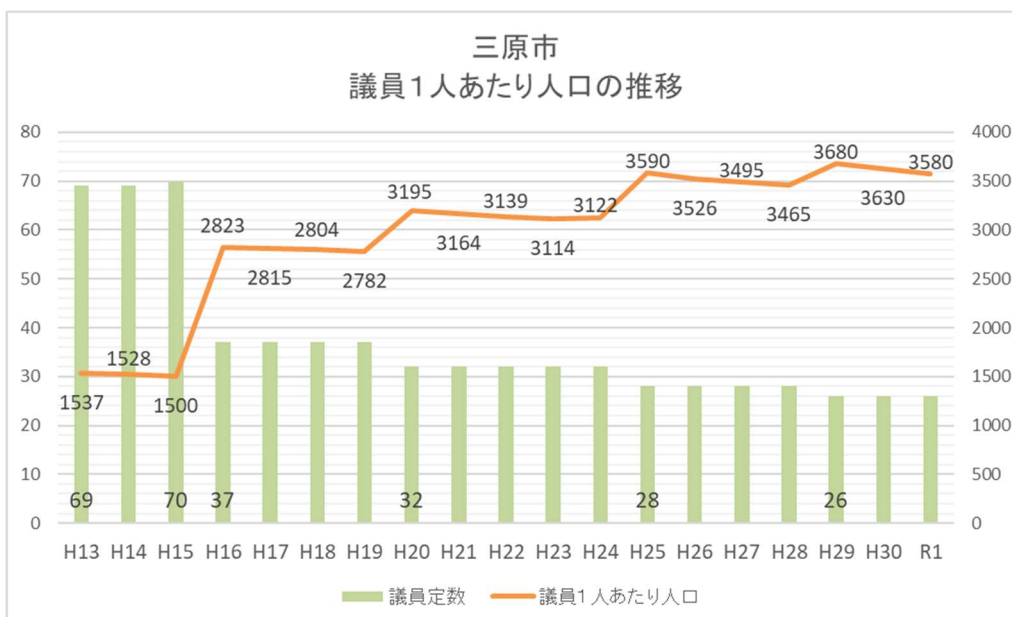
(表1) 三原市H29および三原市H30は実績値(総務省決算カードより)。三原市2040a～e人口は国立社会保障・人口問題研究所推計値。三原市2040a～e歳出総額を400億円に設定しているが、三原市の類似団体(Ⅱ-2)人口7万人台の11団体平均は314億円。秋田県大館市:人口72,623人・面積913km²・歳出額376億円、岐阜県中津川市:人口78,950人・面積676km²・歳出額379億円を参考に設定。三原市2040bは【議会費／人口】を現在と同程度にした場合の議会費推定額を算出。三原市2040cは【議会費／歳出総額】を現在と同程度にした場合の議会費推定額を算出。

◆論点:人口減少や財政規模縮小の局面において、議会費を聖域として維持していくべきかどうか。

市政の高度な経営判断を役割とする議会自ら経営改革をしていくべきであり、後年の財政負担が高くない判断をすべきと考えます。財政制約のもとで、議員定数または議員報酬のいずれを減らすかについては、議員定数を減らすべきと考えます。場当たりの削減では議会の機能低下を招きかねず、戦略的な削減策が必要と考え、以下に述べます。

2. 議会機能の視点から

合併前は1500人に1人の議員がいた状況から、現在では3500人に1人という存在になっており、物理的に議員の姿が見えづらくなっている可能性がある(グラフ2)。



(グラフ2) 平成13～15年度は1市3町の合算。総務省決算カードより作成。

議員定数を減らすことのデメリットとして、広聴機能の低下、市長・行政監視機能の低下、政策立案機能の低下を懸念する声が挙げられる。

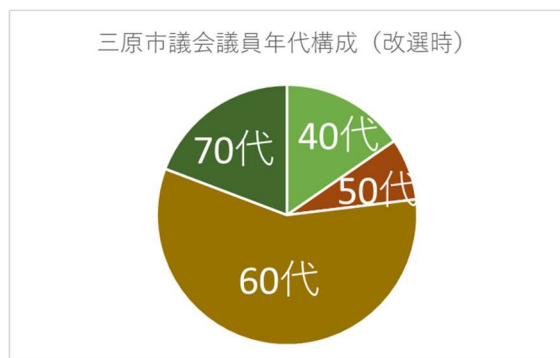
◆論点：議員定数を削減しながら、議会機能の向上を図ることは可能か。また、どうすれば、向上を図れるか。

議員定数を減らすことで減額となる経費の一部を議会機能向上のための研修や活動に充てることにより実現可能であると考えます。

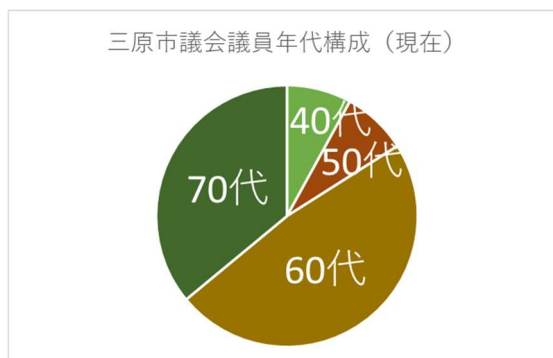
本市議会では現在、常任委員会における政策立案およびそのための広聴に取り組んでいます。しかし、緒に就いたところで、アンケート設計、インタビュー、ワークショップ、ワールドカフェなど市民の声を効果的に把握する手法、把握した意見の分析手法、課題解決方法の選択手法など、広聴機能および政策立案機能の発展途上段階にあるところです。議会全体として、令和元年度に政策立案のための研修が行われましたが、実践する上で障壁となった点を乗り越えるため、更なるスキルアップのための研修が必要であると考えます。理論と実践のサイクルが回り始めれば、外部講師による研修費用は削減できます。

3. 多様な議員のなり手を確保する視点から

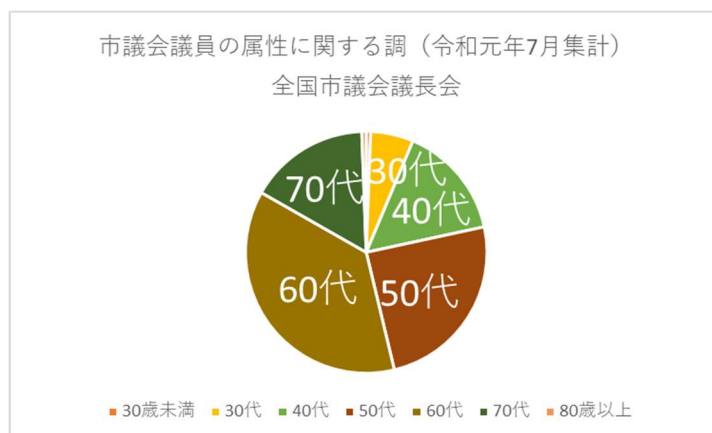
本市議会議員の年代構成は、全国市議会に比べて偏りがある（グラフ3、4、5）。



(グラフ3)

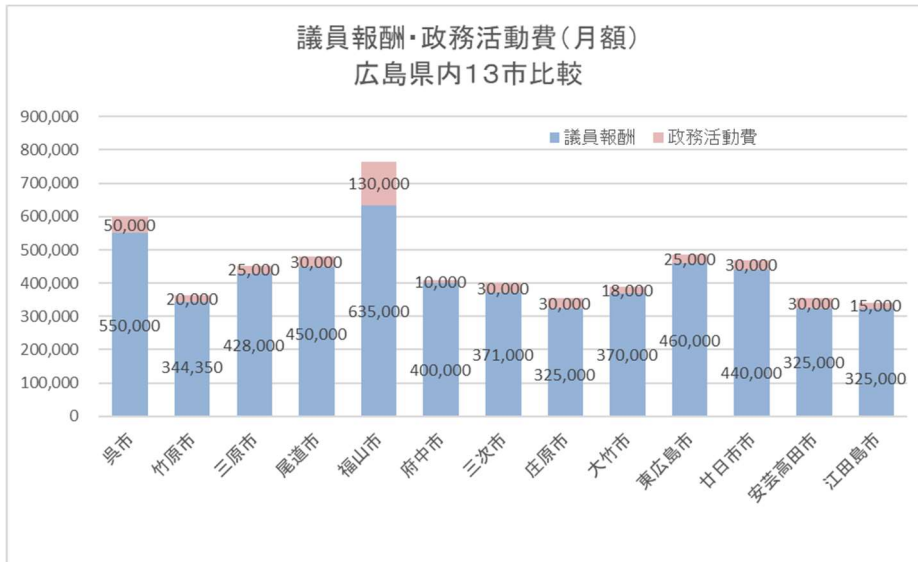


(グラフ4)

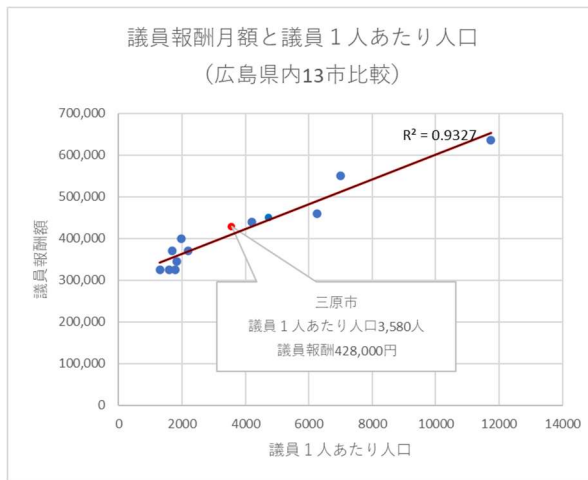


(グラフ5)

本市議会議員の報酬額は県内中核・一般市で多いほうから6番目である（グラフ6）。議員報酬額は議員1人あたり人口と相関関係にある（グラフ7）。



(グラフ 6)



(グラフ 7)

◆論点：財政制約のもと、議員報酬を減らすべきか。また、多様な議員のなり手を確保するために有効と思われる対策は何か。

議員報酬額が低い場合、生活のための収入が他に必要となることも想定されるため議員のなり手が限定的になる可能性があり、また現在の報酬額が適正範囲であることから、現状を維持すべきであると考えます。

平成29年に三原青年会議所が主催した「みはら高校生議会」に参加した高校生が、「将来、議員になりたい」と感想を述べていました。議会機能の向上を図りながら、広報・広聴を通じて多様な市民と接する機会を増やすことが、なり手確保につながるものと考えます。また、地域課題が具体的に解決できることや、議会として目標を定め達成度評価を公開していくことなどにより、議会への信頼が高まるとともに、地域のシンクタンクとして若年層の「就職」希望につながるのではないかと思います。

(参考資料)

▼岩手県滝沢市議会の議会評価

<http://www.city.takizawa.iwate.jp/shigikai/katudohoukoku.html#houkokuhyoka>

▼総務省地方議会のあり方に関する研究会報告書（平成25年度）

https://www.soumu.go.jp/main_content/000287844.pdf